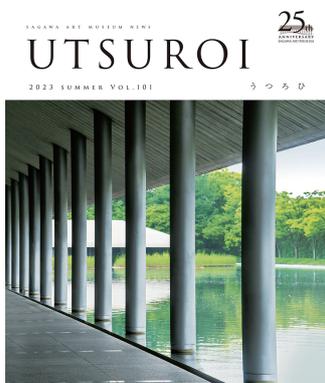
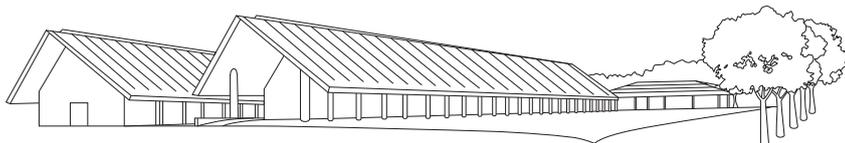


うつろひ VOL.101

リリースのおしらせ

佐川美術館
SAGAWA ART MUSEUM

佐川美術館友の会会員の方を対象に
年4回季刊誌を発行しており、
展示会のみどころや耳より情報をお知らせしています。
7/1 発行の101号では、この夏大注目の昆虫展
『めっちゃ！昆虫展』の見どころを紹介します。
耳寄り情報満載のその他コーナーもお見逃しなく！

目次

企画展 めっちゃ！昆虫展みどころ紹介	PICK UP	1-2
コレクション展 平山郁夫 文化の通り道	3-4
コレクション展 佐藤忠良 四季のうつろい	5
コレクション展 樂直入 守破離の彼方	PICK UP	6
フジさんが行く！ SHIGART	7
学芸トーク × 教育普及のカタチ	PICK UP	8
深井建築 LABO/ 教えてセンパイ！	9
【告知】 次回展 / トワイライトコンサート	10
【告知】 美学のお知らせ / アンケート	裏表紙

次のページで
ちょっとだけ紹介！

年会費 3,000 円
でオトク！

友の会会員
募集中



詳しくは
コチラ

友の会会員の方には、季刊誌を
ご自宅までお届けします。
その他にも特典がいろいろ！
詳しくは美術館公式 HP 内、
友の会ページをご覧ください。

Join the Friends
of the Museum

SAGAWA ART MUSEUM NEWS

25th
ANNIVERSARY
SAGAWA ART MUSEUM

UTSUROI

2023 SUMMER VOL.101

うつろひ



佐川美術館
SAGAWA ART MUSEUM

標本・巨大模型・写真・映像による

驚異の昆虫ワールド

昆虫誕生のルーツは今から4億年以上前にさかのぼり、以来様々な環境に適応するために独自の進化を遂げてきました。現在世界に100万種以上生息していると推定される昆虫は、全生物の約6割を占めているとも言われます。地球は、まさにバラエティに富んだ昆虫たちの惑星とも言えるでしょう。そんな昆虫たちの姿をよく見ると、緻密かつ複雑な身体の構造をもち、大きさや形、色は個性にあふれています。

本展では、昆虫の魅力を知り尽くした関西の4つの博物館・昆虫館にご協力いただき、最新の知見を交え、標本や模型、写真や映像などでその魅力を紹介します。めっちゃすごい！昆虫の世界をぜひお楽しみください。



《ヘラクレスオオカブト》
撮影：海野和男

《ハナカマキリ》
撮影：海野和男



多様性の宝庫、 昆虫を間近で楽しもう



《ノサマバタ》 撮影：栗林慧

大きい昆虫、小さい昆虫、きれいな昆虫、変な昆虫など、一言で昆虫と言ってもその形態は多種多様。生息する環境に応じて様々な進化を遂げており、今もなお謎に包まれた生態も多く、その興味は尽きません。子どもの頃、カブトムシに代表される力強い甲虫や、モルフォチョウのような美しい翅を持つ昆虫を見て興奮した人も多しはず。本展では、目を奪われるような美しい昆虫の標本だけでなく、日本の昆虫写真界をリードする写真家が撮影した写真や映像も見どころの一つです。

Pick up! 1
季節の「めっちゃすごい」ごちそう!?

ニュースで目にする事が増えた昆虫食。実はこれまでも世界各地で、そして日本でも食べられてきた食材です。地域の料理として、季節のごちそうとして食べられてきた昆虫食の魅力は、味わうだけではありません。昆虫の特徴や習性を知り尽くした採集や飼育は、地域の文化として、人々の楽しみとして現在も受け継がれています。近年は環境にやさしいタンパク源として、そして食物繊維や鉄分、亜鉛などの栄養面でも関心を集めるようになりました。最近では加工食品やパウダーもあるので、試してみたいかがでしょうか。

Pick up! 2
昆虫は「めっちゃすごい」

昆虫と人類の関係は、養蚕や昆虫食といった文化だけでなく、近年では昆虫もつ独特な生態をヒントに医療や産業にも利用されています。例えば、アサギマダラの翅の形状を応用した扇風機や、カ(蚊)の針を模倣した刃先形状の微量採血用針など、最先端の技術に転用することで、私たちの生活に役立てられています。また、人工衛星のアンテナ展開システムは、テントウムシの翅の折り畳みからヒントを得て作られています。宇宙開発分野にまで昆虫が関わっているとはすごいですね。



楽しいフォトスポットが盛りだくさん

会場内での写真撮影はもちろんのこと、巨大ごきぶりホイホイに入りGの気持ちを抱かせるコーナーや、かわいい!? 巨大オオムラサキの幼虫と撮影できるスポットがたくさん♪ みんなで楽しい写真を撮っちゃおう!



昆虫が作り出す 芸術品



昆虫が作り出すものといえば、巣や卵が代表的です。マール形状の模様が特徴的なスズメバチの巣や六角形の筒が連なった形状のアシナガバチの巣などは、デザイン性が高く、もはや芸術作品といっても過言ではありません。また、ナナフシの卵は、壺を連想させる工芸品のような形状が特徴的で、昆虫が作り出す造形美には目をみはるものがたくさんあります。

SPECIAL EVENT

Event 1 今森さんの本棚

佐川美術館特別コラボ企画として、写真家今森光彦さんによるイベントを開催!

日本を代表する昆虫写真家の今森さんが、ぜひ読んでほしい昆虫関連の書籍をセレクト! 昆虫展の会期中販売しますので、ミュージアムショップの特設コーナーにて、実際に手に取ってご覧ください。

Event 2 親子で知りたい 昆虫イチオシBOOK

特設コーナーの今森さんセレクト書籍の中から、おすすめのポイントなどを直接お話しいただきます。第一線で活躍する昆虫写真家の視点とは? ぜひ親子でお聞きください。

日時 8月30日(水)

① 10時30分～11時30分

② 13時～14時(各回60分)

会場 B2 樂吉左衛門館ロビー

定員 20組

対象 小学生以上のお子さまとその保護者(祖父母の方も可)

参加方法 当日、館内インフォメーションにて整理券配布

料金 無料

※未就学児のお子さまもご参加できますが、小学生のお子さま向けにお話しいただきますので、予めご了承ください。

Information
The Amazing World of Insects
めっちゃ昆虫展
7月11日(火)～9月18日(月・祝)

めっちゃすごい撮影OK! 会場内

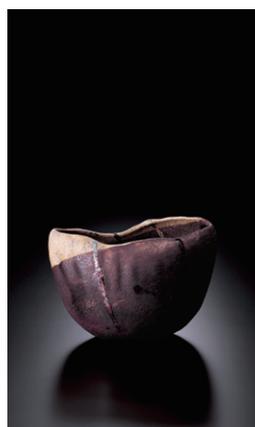
【特別協力】
大阪市立自然史博物館、伊丹市昆虫館、
橿原市昆虫館、箕面公園昆虫館

創造への航海

守破離の彼方

茶道具のうちの3点(茶碗、茶入、水指)を組んで展示しています。直入ならではの焼貫という技法でつくられた作品を展示空間にバランスよく配置することで、調和のとれた一つの世界観を構成しています。

《焼貫水指》2007年、《焼貫茶入 縞青》2008年、《焼貫黒樂茶碗 入溪》2006年



《焼貫黒樂茶碗 筏舟》2002年

暗闇に浮かび上がる夜の海を漂う舟を想起させる、銘「舟」の一字がつく杓形の作品。見込み(茶碗の内側)には黒の釉薬が掛けられており、口造りが波のような動きを伴い個性的です。



《焼貫黒樂茶碗 江上阻風雨》2003年

光が降りそそぐ明るい昼の海を漂う舟を想起させる、腰の丸い形状が特徴的な杓形、楕円状に歪みのある形)の作品。海の青をイメージさせる呉須(コバルト)の釉薬が美しい一碗です。

昼の航海

Information

樂直入展
守破離の彼方

会期：開催中～
9月18日(月・祝)



《焼貫黒樂茶碗 氣昏雨已過突元山復出》2006年

伝統的な規範を打ち破った斬新な造形の作品。焼貫黒樂茶碗、胴や口縁に激しい筧の跡が見られ、焼き貫くという名の通り、かなりの高温で焼き締めた作品は、直入ならではの表現です。



《赤樂茶碗 桃実》2012年

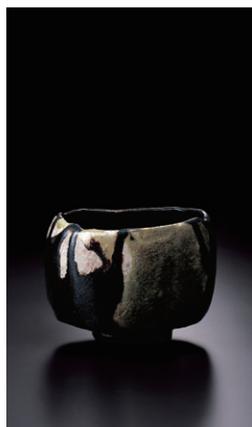
掌(手のひら)に馴染む穏やかな姿の温かな趣の赤樂茶碗は、伝統的な規範性の高い作品。樂茶碗を代表する赤樂茶碗の赤は土の色で、黒っぽい景色になっているのは窯変によるものです。

破の守



《焼貫茶入 迦楼羅》2009年

これまでの固定化された茶入の様式を打ち破った作品。焼貫茶碗は、これまでの茶碗の概念を打ち破ったものでしたが、「塊」をイメージしたという焼貫茶入はさらに革新性に満ちています。



《黒樂茶碗 春江》2001年

抹茶茶碗らしい形状の黒樂茶碗は、伝統的な規範性の高い作品。若草色の緑釉がモダンな印象を醸し出しています。黒の釉薬は京都市内を流れる鴨川から採取された加茂川石を使用しています。

樂直入自らが設計の創案を行った樂吉左衛門館の6つの展示室には、「守破離」というテーマに基づいて象徴的な展示室名がつけられています。それぞれの展示室に展示されている作品との関係性とは・・・本展では、開館当初(2007年)の設計創案に基づいた展示をしています。



学芸員が作品を紹介し、一緒に鑑賞する「芸術鑑賞教室」

学芸トーク



教育普及のカタチ

美術館の大きな役割である「教育普及」ですが、その定義は幅広く、ジャンルも多岐に亘ります。佐川美術館の教育普及活動を担う藤井さんと上村さんがその可能性について語ってくれました。

上村 美術館での教育普及活動と言えど何でしょう？

藤井 ふむ、意外に知られていないかもね。上村さんはどう思う？

上村 ワークショップ、講演会にギャラリートークが真っ先に出てきますね。

藤井 他にも、子ども絵画コンクールとかアーティストの公開制作もあるね。もちろん、展覧会も。

上村 そうそう、それもある。教育普及は美術館の役割として大切ですね。

アートを通じて、「気付く」「機会を

藤井 じゃあ、上村さんは美術館が教育普及を行う意味って何だと思う？

上村 そうですね、たくさんの方がアートに親しめる機会を提供できる。そして、その楽しさや奥深さを他の人と共有する場も設けられることでしょうか。

藤井 先に挙げた取り組みもそうですね。

上村 はい。あと、すべてには共通して「気付く」があると思います。

藤井 良いところに気付いたね！

上村 新しく知ること、そして、自分がどう思ったのか感想をもつことは、疑問や発見に繋がります。そして、その中には人間を豊かにする大切なものがあると思うんです。

藤井 うんうん、私たちは美術と人を繋ぐ架け橋として、これからも大いに活動していきますでしょう！



佐川美術館 学芸員 藤井 康憲

聴き手を意識して

上村 佐川美術館にきて8年目でしたよね？経験豊富な藤井さんの記憶に残る教育普及活動は、ズバリ何ですか？

藤井 生涯学習支援美術講座の「美学」と「芸術鑑賞教室」だね。

上村 美学は大人向けの学習講座、芸術鑑賞教室は守山市の小学4年生を対象にしたものですね。

藤井 そうそう。これは自分の経験だけど、他の美術館に行った時にそこで展示されているものを見て、「これはどういうものだろう？」「疑問に思っただけのまま帰っちゃった」ことがあったね。

上村 私も身に覚えがある！

藤井 講座や鑑賞教室なんかの対面型イベントでは、なるべく聞き取りやすく、年齢に応じてわかりやすいように話すようにしているよ。一人でも多くの人にアートへの理解を深めて欲しいからね。

上村 なるほど！だから藤井さんの解説は、楽しくて聞きやすいんですね。

新たな視点をプラス

藤井 今度は未来の教育普及について考えようか。上村さん、やってみようか？

上村 たくさんあるけど、強いて言うなら絵具作り！

藤井 えっ！気になる！それは何で？

上村 当たり前ですが、美術館に展示してある作品は一部を除けば、ほぼ完成されたものです。

藤井 よね。だから、「何が描かれているか」に目がいつ、「何で描いているのか」という点には目がいきにくいと思うんです。

上村 確かに。画材にも歴史があつて、時代によつて全然違ってくるしね。

藤井 はい、だから画材を作ってみることで、新たな鑑賞の視点を提案できるんじゃないかと思っています。

子どものユニークな着眼点に期待！

藤井 15年続く子ども絵画コンクールも、今年からテーマが変わるよ。

上村 はい、新しいテーマは「夢」です。

藤井 「夢」は…昨日見た夢、将来の夢、欲しいものにやりたいことと幅広い解釈ができるね。

上村 だから、可能性は無限にあるといつてもいいでしょう！

藤井 子どもたちの着眼点は本当に面白いもんね。大人になると考えが凝り固まりがちになつてくるから、毎度新鮮さに驚かされるよ。応募作品が今から楽しみだな。

上村 同じく！

藤井 全国の子どもたちからたくさん届くといね！



美術館での「ワークショップ」は作る楽しさと想像力を育みます



佐川美術館 学芸員 上村 友理

教育普及イベント

夏季ワークショップ

8/3(木) 8/4(金)

フェルトで作る ふわふわ昆虫 切り貼り塗り絵 「ちょうちょをデザインしよう」

詳しくはHPにて

第15回 子ども絵画コンクール 作品テーマ「夢」

今年から作品募集テーマが「夢」になりました！入賞作品は2024年2月6日(火)から25日(日)まで優秀作品展に展示します。

応募対象 未就学児～小学校6年生 募集期間 2023年7月1日(土)～11月20日(月) 必着